

# 麦の生育と管理、水田のメンテナンス

令和6年12月号  
宇佐市農政課 / 大分県北部振興局集落営農・水田畑地化第一班



## 麦の栽培管理

HPからも見れます！  
(毎月1日更新)

### ◎麦踏みと土入れ

麦踏みと土入れは、麦作期間中の重要な作業です。

麦の生育状況や土の状態を見ながら、丁寧に・こまめに実施しましょう。

- ・麦踏みは、早播きしたときや、暖冬年で生育量が過剰の時は1～2回多く行ってください。
- ・土入れも、生育過剰の際は回数を増やしてください。

	作業時期	作業回数	注意事項
麦踏み	麦の3葉期 ～ 茎立期	3～4回	作業は土が乾き、ローラーに土が付かない時に実施。
土入れ	麦の4葉期 ～ 茎立期	2回	作業は土が乾いたときに実施。 1回目は土を薄くかける。

### 麦踏みと土入れの効果

麦踏み



土入れ



- ・分げつ促進
- ・茎立ちを遅らせる
- ・穂揃い良化

- ・倒伏防止
- ・雑草抑制
- ・排水改善

### ◎肥培管理 ～分げつ肥で穂数増加へ～

分げつ肥を散布することによって、穂数が増加し収量上につながります。

穂肥とは目的が異なるので、必ず分けて施肥しましょう。

#### 【分げつ肥の施肥量（10aあたり）】

小麦	適期	化成肥料 16-0-16
大麦	麦の4葉期頃	15kg

※遅播の場合：施肥量20kg



分げつ肥施用時期の麦

### ◎麦圃場の額縁明きょ、排水口の点検を！

近年、一度に多量の降雨が観測されるなど、気象が極端な状況が見受けられます。多量の降雨のあとは、明きょの崩れや、排水口のつまりが起これやすいので、しっかり点検して排水を改善してください。



排水口のつまりを点検



排水がうまくできないと、溝に水が溜り湿害の原因になります。

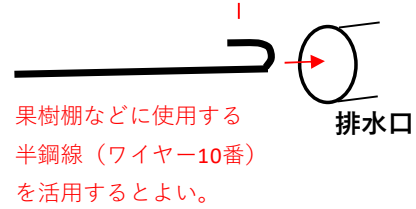
# 水稻の収量向上に向けた冬の圃場管理

## ◎暗渠の整備

米の単収は昭和30年代後半から向上していますが、その要因のひとつに「乾田化」があります。乾田化により土壌中の有機物の分解が促進され、収量の向上と生育ムラの解消につながっています。湿田解消のため過去に本暗渠等を整備した水田では、冬季の降水が少ない時期に暗渠のつまり等を点検し、排水能力を改善する必要があります。

### 暗渠排水のメンテの一例

右図のようにワイヤー等を排水口から暗渠奥まで突っ込んでつまりを解消します。



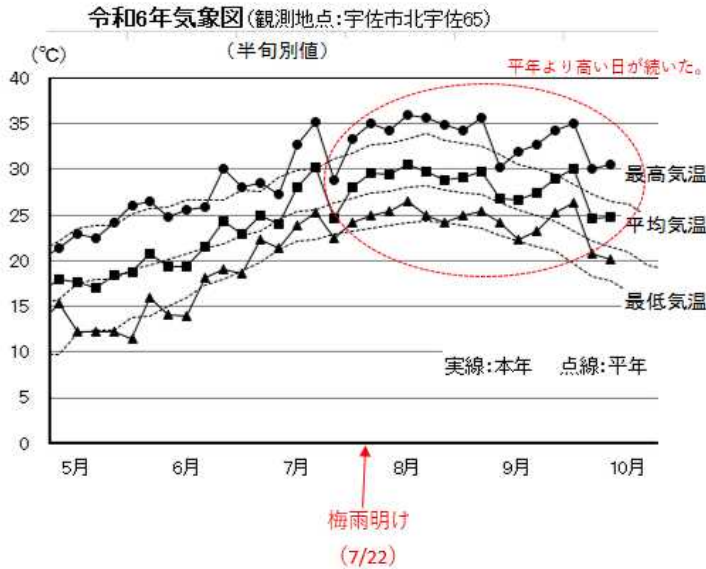
## ◎家畜ふん堆肥等有機物の施用

水田の乾田化による水稻などの単収向上に伴い、土壌中の有機物の消費も多くなりました。冬季に空いている水田はもちろんのこと、消費した有機物の消費を補うため、家畜ふん堆肥を施用してください。

施用量の目安は、10aあたり牛ふん堆肥で1～2tです。堆肥は（少量でもよいので）毎年施用することで、地力維持につながります（数年に一度多量に施用するのはかえって土壤環境を悪化させるのでNG）。

# 令和6年夏作の気象と今後の対応

令和6年夏作の気象は、梅雨明け後、過去にあまり経験がないほどの高温がつづきました。8月は水稻、大豆での病害虫の発生は少なかったのですが、9月に入り大豆のハスモンヨトウの急激な被害拡大（9/25注意報）や、水稻においても紋枯病が多発するなど、病害虫の蔓延防止の対応に追われた方が多かったと思われます。また、降雨も一度に大量に降るなど、圃場の冠水や排水対策に追われた方も多く、本年の反省を生かし、農業情報を細かくキャッチして、適切な栽培管理により被害防止に努めてください。



## 農業情報メール配信の登録募集！

～米・麦・大豆の栽培管理情報をいち早くキャッチしよう！～

### ★ 登録方法 ★

配信受付メールアドレス [syuraku-hokubu@pref.oita.jp](mailto:syuraku-hokubu@pref.oita.jp)

件名または本文に〇〇市 氏名を記入して、配信受付メールアドレスにメールを送信してください。差出人のメールアドレスに農業情報を配信します。